

令和 7 年度定例会 6 月会議開会挨拶（令和 7 年 6 月 19 日）

令和 7 年度定例会 6 月会議の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

6 月 10 日、開催された第 76 回北海道町村議会議長会定期総会の決議は、

北海道の町村は食糧供給、水源涵養、国土保全、脱炭素など住民生活にとって欠かすことのできない役割を果たすとともに、地域資源を活かした産業を創出し、地域に根づいた豊かな伝統文化を育んできた。しかし、少子高齢化の急速な進行、担い手不足が深刻化し、地域活力が減退、頻発する自然災害や原油価格・物価の高騰が基幹産業である農林漁業をはじめとする地域経済・住民生活に深刻な影響を及ぼしている。

われわれ議会人は、これらの課題解決のため、議会活動量の豊富化を図り、住民の代表たる責務を自覚し、清新で活発な議会活動になお一層努めるとともに、持続可能なまちづくりのため、住民の負託に応えなければならないとして、

- ① 議会機能強化、多様な人材が参画する環境整備
- ② 少子化対策の推進、子育て支援の充実
- ③ 防災・減災対策の強化、国土強靱化の推進
- ④ 地域の特性を踏まえた持続可能な地域社会の実現等

15 項目の決議と 14 件の地区要望事項を北海道町村議長会の総意として採択致しました。

経済財政運営の指針「骨太の方針 2025」が、6 月 13 日閣議決定されました。「年 1%程度の実質賃金上昇を起点とした成長型経済の実現」を掲げ、懸念材料となっているコメをはじめとした物価高や高関税対応等を盛り込み、基礎的財政収支の黒字化を先送りする厳しい内容となっております。

福島町議会としても、厳しい現況を受け止め、持続可能な町づくりの課題解決に向けて行政としっかり協働し、より住民の側に立って活動することが、議会・議員の責務であるとの認識をさらに深め、議会活動に取り組んでいかなければなりません。

出席者各位には、本 6 月会議の議事運営にご協力いただきますようお願い申し上げ、活発な討議が展開されますことを期待して開会の挨拶といたします。